

# 半導体漫遊記

## 湯之上隆

149

自動運転車の開発が活況を帯びている。トヨタや日産などのクルマメーカー、ルネサスなどの車載半導体メーカー、さらにグーグルやアップルなど異業種もこの分野へ参入しようとしている。

自動運転車用半導体では、ディープラーニング機能を備えた人工知能(AI)で高度な画像処理をすることが要求される。現在、米ファブレスのNVIDIAがこの分野を大きくリードしている。NVIDIAは、画像処理プロセッサGPUを用いて自動運転用の新型AIボード「Drive PX 2」を開発した。このAIには合計4個のGPUが搭載され、1秒間に24兆回演算し、これがディープラーニングを加速する。

### 自動運転用AI半導体を制する者は誰か

## 独走NVIDIAの死角

自動運転車用半導体では、ディープラーニング機能を備えた人工知能(AI)で高度な画像処理をすることが要求される。現在、米ファブレスのNVIDIAがこの分野を大きくリードしている。NVIDIAは、画像処理プロセッサGPUを用いて自動運転用の新型AIボード「Drive PX 2」を開発した。このAIには合計4個のGPUが搭載され、1秒間に24兆回演算し、これがディープラーニングを加速する。

自動運転車用半導体では、ディープラーニング機能を備えた人工知能(AI)で高度な画像処理をすることが要求される。現在、米ファブレスのNVIDIAがこの分野を大きくリードしている。NVIDIAは、画像処理プロセッサGPUを用いて自動運転用の新型AIボード「Drive PX 2」を開発した。このAIには合計4個のGPUが搭載され、1秒間に24兆回演算し、これがディープラーニングを加速する。

自動運転車用半導体では、ディープラーニング機能を備えた人工知能(AI)で高度な画像処理をすることが要求される。現在、米ファブレスのNVIDIAがこの分野を大きくリードしている。NVIDIAは、画像処理プロセッサGPUを用いて自動運転用の新型AIボード「Drive PX 2」を開発した。このAIには合計4個のGPUが搭載され、1秒間に24兆回演算し、これがディープラーニングを加速する。

自動運転車用半導体では、ディープラーニング機能を備えた人工知能(AI)で高度な画像処理をすることが要求される。現在、米ファブレスのNVIDIAがこの分野を大きくリードしている。NVIDIAは、画像処理プロセッサGPUを用いて自動運転用の新型AIボード「Drive PX 2」を開発した。このAIには合計4個のGPUが搭載され、1秒間に24兆回演算し、これがディープラーニングを加速する。

自動運転車用半導体では、ディープラーニング機能を備えた人工知能(AI)で高度な画像処理をすることが要求される。現在、米ファブレスのNVIDIAがこの分野を大きくリードしている。NVIDIAは、画像処理プロセッサGPUを用いて自動運転用の新型AIボード「Drive PX 2」を開発した。このAIには合計4個のGPUが搭載され、1秒間に24兆回演算し、これがディープラーニングを加速する。

自動運転車用半導体では、ディープラーニング機能を備えた人工知能(AI)で高度な画像処理をすることが要求される。現在、米ファブレスのNVIDIAがこの分野を大きくリードしている。NVIDIAは、画像処理プロセッサGPUを用いて自動運転用の新型AIボード「Drive PX 2」を開発した。このAIには合計4個のGPUが搭載され、1秒間に24兆回演算し、これがディープラーニングを加速する。

「DRIVE PX 2」を搭載した結果、4時間足らずでドイツの道路標識を全て学習し、96%という高い精度での識別が可能になったという。この結果、NVIDIAのAIに

「ライン認定」を受けなければならない。通常、半年〜1年かか

「ライン認定」を受けなければならない。通常、半年〜1年かか

「ライン認定」を受けなければならない。通常、半年〜1年かか

「ライン認定」を受けなければならない。通常、半年〜1年かか

「ライン認定」を受けなければならない。通常、半年〜1年かか

「ライン認定」を受けなければならない。通常、半年〜1年かか

「ライン認定」を受けなければならない。通常、半年〜1年かか

「ライン認定」を受けなければならない。通常、半年〜1年かか

「ライン認定」を受けなければならない。通常、半年〜1年かか

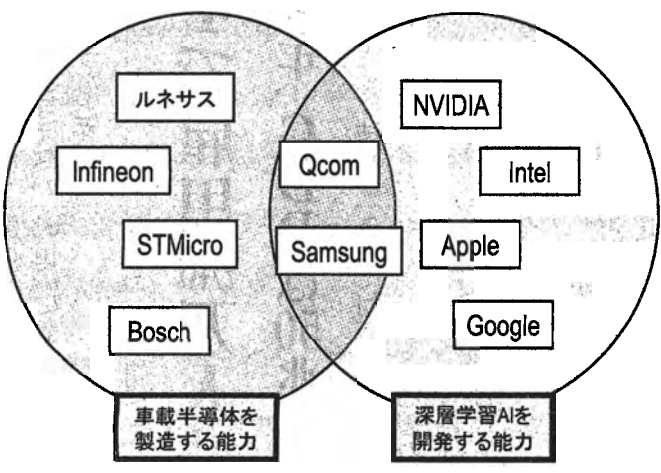


図1 自動運転車用AI半導体を制するのは誰か

自動運転車用AI半導体でトップを走るNVIDIAを、クアルコムとサムスン電子が追撃する。誰が真の勝者になるか、注目していきたい。(Micro加工研究所・所長)